

保育あき友

v. 1.65

瓦版

令和6年8月27日

題字：故 小畑勇二郎 書（秋田県知事）

「第72回 北海道・東北ブロック保育研究大会を終えて」



秋田県保育協議会
副会長 上村 清正

「すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして」をテーマとして、7月10日・11日と秋田キャッスルホテルを会場に秋田県内及び北海道・東北各道県より500余名の参加を得て開催し、盛会裏に終えることができました。あらためて事前の準備を率先して着々と進めていただきました実行委員会の皆様方、また大会にご参加いただきました先生方、そして参加職員がいない中で各施設において保育をお守りいただきましたすべての先生・職員の皆様に対しまして深くお礼申し上げる次第です。本当にありがとうございました。

大会準備においては、総務部をはじめ各担当部より構成される「実行委員会」や「部会」を必要に応じて適宜開催し準備を進めてまいりましたが、実際のところ大会直前まで対応しなければならない事案も発生するなど、今後同じような大会の準備をしていくための課題も発見しながら大会当日を迎えるかたちとなりました。

今大会においては研究大会のメインである「分科会」を初日に設け、4つの分科会において各研究テーマに沿った道県選りすぐりの発表が行われました。その中でも秋田県においては、4つの分科会中3つの分科会で「優れた発表」として選出され、内1つの分科会においては北海道・東北ブロック代表として『全国保育研究大会』で発表していただくこととなりました。秋田県で一緒に保育を高め合っている仲間としてこの選出は嬉しい限りですし、誇らしくも感じます。秋田の、そして北海道・東北ブロックの代表として、素晴らしい発表が行われますことをご祈念申し上げます。頑張ってきてください。

分科会後に行われました交流会においては、分科会発表者の皆様方も緊張から解放され『あきた舞妓』・『英心&Meditationlies』による花柳界文化・音楽を楽しみつつ、美味しい食事とお酒で会話も大いに盛り上がりました。また大会2日目の記念講演『秋田発 柳葉流・子育て』では『柳葉敏郎』・『石垣政和』両氏の軽妙なトークにより参加者皆さんも楽しんでいただけた内容であったと主催者側として安心しております。大会2日間通して参加者皆さんの『笑顔』がとても印象に残る大会となりました。

日本一出生数の低い秋田県ではありますが、当会の皆様と『笑顔』を大切にしながら、心豊かな子育てと保育を一緒に行っていきたいと思っております。これからも当会の運営や取り組みにご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

北海道・東北ブロック保育研究大会選考会 参加者からの感想



「発表を終えて」

わかこま第二保育園
保育士 藤田 要

無事に研究発表を終えることができ、今は日々の生活を落ち着いた気持ちで過ごせています。発表担当に決まってからの2年間は試行錯誤しながら研究を進めてきました。その中で気力、体力、健康維持をしていく大変さに気がつきました。決められた期間内で研究し、それをまとめあげ発表までもっていく大変さを経験し、職員全員の理解と協力があったからこそできたものだと実感しています。

研究発表のテーマをどうするか？ どのように進めていけば良いか？ 職員全員に研究大会のことを周知してほしい、みんなの協力が必要、その為には…「年齢や経験などは関係なく、何でも語り合うことにしよう。」そこで、まずは「語り合いの環境作り」に取り組みました。2年前と比較して、クラス運営や子どものことなどで日常的に語り合う場が増えてきました。そのことは大きな成果だと感じています。

以前は、園内研修のテーマは1年ごとに違うものでしたが、継続して取り組んでいくことで保育者の意識も変わり、子どもへの理解もさらに深めていくことができるようになりました。研究を進めることで、得られたものはとても大きかったと実感しています。

「選考発表会を終えて」



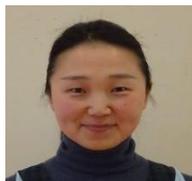
みつば保育園
保育士 深井 里美

5月30日、31日に行われた選考発表会において、「1歳児との関わり～自分自身の保育を見つめ直して～」というテーマで発表させていただきました。

約1年前から研究を始め、担当していた1歳児の子どもたちと向き合いながら進めていきました。研究を進めるにあたり、1歳児との関わりの難しさを感じ、自分自身の保育を改めて見つめ直す中で、他の職員からの様々なアドバイスや協力を得ながら取り組むことができました。また、自分の保育に足りない部分に改めて気づき、子どもたちの好きな遊びから保育を広げることの大切さを感じるようになりました。

選考会当日は、50名ほどの参加者が聞いてくださる中での発表でした。私自身、大勢の前で発表するのが初めての経験だったので緊張していましたが、園内で練習を重ねてきたので、落ち着いて発表できたように思います。人前で話すことが苦手な私ですが、今回の経験で少し自信をもてるようになった気がします。貴重な経験をさせてもらい、感謝しています。この研究発表で得たものを今後の保育にも活かしていきたいと思っています。

「北海道・東北ブロック保育研究大会選考発表会を終えて」



井川町立井川こどもセンター
保育教諭 小熊 貴加子

数年前に「保育研究大会」での発表が自園の当番だと知った時から、園内研修の方向性に迷い試行錯誤しながら、職員間で研究を進めてきたことを思い出しました。基本に立ち戻り、自園の特徴や井川の子ども達に合った研究の内容を設定するよう指導いただきました。「互いに認め合う心を育む～友だちと関わる中で相手の気持ちに気づき、互いに成長し合うこどもを目指して～」をテーマに、昨年度は一人の子どもの成長や変容を追いながら研究を進め、今回発表させていただきました。当日は役員の皆様が会場内を温かい雰囲気にしてくださり、自園だけではなく、発表者全員を励ましていただき深く感謝しております。他園の幅広い研究内容を勉強させていただく機会となったのはもちろんのこと、「園内研修とは？」をもう一度考えるきっかけにもなりました。各園の研究内容はそれぞれでしたが、子ども達の成長を思い、目指す所はみんな一緒なのだを再確認することができた1日となりました。「試行錯誤しながらも研究を重ね、子ども達の歩みを進めていく」ということを胸に刻み、この後も保育を進めていきたいと思えます。今回このような発表会に参加できたこと、そして当日までの自園職員の協力に感謝します。

「選考発表を終えて」



金沢保育園
保育士 佐藤 千晶

自園では、令和3年度から『ねばりづよい子～保育を語り合い、子どもの心をつつめよう～』というテーマで園内研修を進めてきました。子どもたちの実態として、体を動かすことが好きで友達への関心も大きい反面、失敗するのが嫌だ、やってみたいけれど面倒だ…などの姿も見られ、『ねばりづよい、かねざわっこ』を育むためにはどのような援助や環境構成があるのかを事例をもとに SOAP の視点で保育を語り合い園内研修を重ねてきました。

発表にあたり、3年間の園内研修をまとめる難しさも感じましたが、全職員で保育を語り合ったことで、“幼児期の終わりまでにまでに育ってほしい姿”への理解も深まりスキルアップへとつながったように感じます。また、一緒に考えたり、アドバイスをしたり、実際の保育でも声を掛け合ったことで今まで以上にチームワークも高まったのではないかと思います。研究を進める中で見えてきた課題を引き続き意識しながら、今後もより良い保育へとつなげていくために学びを深めていきたいと思えます。

今回初めて発表者を務めさせていただき、たくさんの方を前に発表することに緊張もありましたが、この経験が保育士としても大きな糧になったのではないかと思います。今回の研究発表で得た学びを活かし、今後も笑顔で楽しく保育をしていきたいと思えます。

「研究大会発表を終えて」



神代こども園

主査保育教諭 矢野 直子

主査保育教諭 藤井 咲子

今回の研究は『 J I 自分らしさを出し合える N 仲間のことが DAI 大好き！！ 』というテーマで1クラスを対象とし、2年間取り組んできました。この研究をすることで、子どもの姿がより具体的に捉えられるようになり、手立ても考えやすくなりました。研究をまとめていると、子ども達が自分らしさを発揮できているのは、今まで関わってきた保育者との素敵で楽しい毎日があったからだと感じ、子ども達に関わった保育者みんなに見てもらい、一緒に成長を喜びたいと感じました。実際会場で発表し、助言者の先生達に、研究の内容、子ども達や保育者のよさを高く評価していただき、この研究を認めてもらっているという嬉しい気持ちになりました。今回の研究を振り返ってみると、もっと掘り下げられる部分があったと感じたので、そこは今後自園で取り組んでいきたいと思えます。

子ども達は現在年長組となり、夏祭りでは太鼓を披露しました。自分達らしさがあふれる元気いっばいのかけ声とキラキラした姿で、研究発表のその後の資料という形で皆様に知らせたいほどでした。これからも、子どもと関わっていく中で見つけた様々な発見を積み重ね、子ども達の成長を支えていきたいと思えます。研究発表という貴重な経験をさせていただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。

「研究発表を終えて」



湯沢こども園

保育教諭 今野 翔人

湯沢こども園が保育研究大会の発表園になり、私が研究発表を担当する大役を託された時は不安でいっぱいでした。どんなテーマで、何について研究をするのか手探りの状態でしたが、私が4年間担当していた本園の子育て支援の1つである休日保育事業について研究を進めることにしました。

本園では、日曜・祝日に仕事をしている保護者が、休日も安心してこども園を利用できるように園内外問わず0歳児から5歳児までの子どもの保育をしています。その日その日で登園する子どもや年齢、人数などが変わってくる中で一人一人の子どもが安心して過ごせる環境やじっくりと遊びこめる環境作りの方法を考え、約1年間いろいろな遊びを展開しながら研究を深めてきました。始めは1日を通して泣くことが多かった子どもや、なかなか好きな遊びを見つけられなかった子どもも環境の再構成や遊びの試行錯誤を繰り返していくうち、次第に笑顔が溢れる、真剣な表情で遊びに没頭する子どもの姿が多く見られるようになりました。

研究発表を通して、一人一人の子どもに必要な手立てを学ぶ貴重な経験になりました。これからも「赤い日（日曜・祝日）が楽しい」と思える休日保育を過ごしていきたいと感じました。

「発表を終えて」



幼保連携型認定こども園 シャローむ
保育教諭 川口 拓真

私たちは「家庭や地域との連携による食育の推進」をテーマに、食の原点である畑作りに着目して研究に取り組んできました。畑作りはスムーズにいかず、豪雨や猛暑の影響から土壌がドロドロになったり、野菜が育たなかったりと失敗も多かったです。しかし、その失敗からたくさんの学びがあり、子ども達と地域の高齢者である畑の先生達との関わりが深まっていることを実感しました。また、畑作りを通して地域の人達が笑顔と元気を取り戻す姿から、子ども達の存在が地域社会を元気にし、必要とされていることを理解することができました。子ども自らが育て、収穫し、食べる等、楽しいと感じる食の環境作りを共有することが後の生きる力に繋がることを改めて学ぶことができました。

北海道・東北ブロック保育研究大会へ参加して、自園の取り組みに対する評価や助言、他園の実践発表を聞く等、貴重な経験になりました。職員間で話し合いや工夫を重ね、食の大切さを発信し続ける保護者支援を継続的に意識していきます。畑は学びの場、畑の先生達との触れ合いを大事にしながら、家庭や地域と連携した食育の推進を図りたいと思います。

北海道・東北ブロック保育研究大会 選考結果

先日、施設会員園にメールでの報告はありましたが、改めまして今回行われました「北海道・東北ブロック保育研究大会」各分科会の優秀賞は以下の通りでした。

第1分科会-①「新たな時代の保育実践～すべての子どもにむけて～」

○岩手県 明和保育園

第3分科会-①「保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する」

○秋田県 花輪にこにこ保育園

第6分科会-①「家庭や地域との連携による食育の推進」

○秋田県 幼保連携型認定こども園シャローむ

第8分科会 「公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割」

○秋田県 秋田市河辺保育所

以上の中から、次の全国保育研究大会に進出されるのが

◎第1分科会 岩手県 明和保育園

◎第3分科会 秋田県 花輪にこにこ保育園

※花輪にこにこ保育園さん、おめでとうございます！！

10月17日・18日に開催されます第67回全国保育研究大会（奈良大会）で発表となります。

総務部

【今年度計画】

- ① 会則・規約の情報発信及び内容検討
- ② 災害互助制度及び地域交流助成事業の活用の推進
- ③ 予算の執行状況の把握、各部の活動に向けての支援
- ④ 総会開催の準備

【実施した部会】

第1回 日時：4月9日 13：30～15：30

場所：WEB 開催

内容：総会の役割分担について

決算報告と予算（案）の読み合わせ

会則、規程の変更について

共創プロジェクトについて

役員、協議員、専門部員の名簿の扱いについて

第2回 日時：6月24日 9：30～17：10

場所：保育協議会会議室

内容：第72回北海道・東北ブロック保育研究大会の打合せ及び確認事項

キャッスルホテル下見及び打合せ

各道県の参加人数確認について

来賓受付等について

交流会について

【今後の部会予定】

第3回 日時：7月29日 13：30～

場所：WEB 開催

内容：第72回北海道・東北ブロック保育研究大会の反省

旅費規程（交通費の計算方法について）事務局と確認

地域交流助成の状況報告

災害互助制度申請の年度越えの請求について

【部からのメッセージ】

部会は2回行われ、1回目は総会に向けてでした。最終的に会場が昨年と同じ場所だったので総務部としては安心感をもって臨むことができたように思います。2回目は今年度の大イベントであります「第72回北海道・東北ブロック保育研究大会」に向けて初めての会合でした。会場の下見を行ったことによりその後の打合せもイメージができましたが、話し合うことが多すぎ短距離のごとく走り抜けた打合せになってしまいましたが、当日は部員並びに各担当部署の方々の温かいご協力のもと、とてもスムーズに運ぶことができたと感謝申し上げます。

今後とも総務部へのご理解ご協力よろしくお願い致します。

（総務部長 畠山 柳子）

研修部

【今年度計画】

- ・令和6年度 第33次保育士等研修(5/20、8/7、10/2～3 計3回)の実施
- ・令和6年度 第72回北海道・東北ブロック保育研究大会(7/10～11)への協力
- ・第27回 保育カウンセリングセミナー(9月上旬)の実施

【実施した部会】

- 第1回 日時：4月24日(水) 9:30～10:30
内容：令和6年度 年間計画と役割分担について
第33次保育士等研修会について
第72回北海道・東北ブロック保育研究大会について
- 第2回 日時：7月30日(火) 10:00～12:00
内容：第72回北海道・東北ブロック保育研究大会の反省について
第33次保育士等研修会(子どもにかかわる人にとって大事なこと研修会)
について

【今後の部会予定】

- 第3回 日時：8月中旬
内容：第33次保育士等研修会(子どもにかかわる人にとって
大事なこと研修会)の反省について
第27回 保育カウンセリングセミナーについて
- 第4回 日時：9月中旬
内容：第33次保育士等研修会(清太郎さんの森)について
- 第5回 日時：2月中旬
内容：今年度の振り返りと来年度に向けて

【部からのメッセージ】

現在のメンバーで二年目となり、部員一人一人が意見を出し合って工夫して活動しております。企画した研修はすべてキャリアアップ対象とし、二次募集をすることで多くの方に参加していただいております。引き続き、会員園の皆様にとって有意義な研修を実施できるよう努めてまいります。今後とも皆様のご理解ご協力をいただきますようよろしくお願い致します。

(研修部長 飯田 裕美子)

研究大会部

【今年度計画】

- ① 令和7年度秋田県保育研究大会に向けての準備

【実施した部会】

- 第1回 日時：9月4日(月) 13:00～
内容：北海道・東北ブロック保育研究大会について
- 第2回 日時：11月20日(月) 13:30～
内容：北海道・東北ブロック保育研究大会への選考発表会について
- 第3回 日時：1月19日(金) 10:00～
内容：北海道・東北ブロック保育研究大会への選考発表会の資料の校正
選考発表会の主旨文・要項について
- 第4回 日時：5月13日(月) 10:30～
内容：北海道・東北ブロック保育研究大会への選考発表会の打ち合わせ
- 第5回 日時：7月1日(月) 9:30～
内容：北海道・東北ブロック保育研究大会の打ち合わせ

【今後の部会予定】

- 第6回 日時：8月6日(火) 13:30～
内容：北海道・東北ブロック保育研究大会の反省会
今後の研究大会部の動きについて

【部からのメッセージ】

いつも大変お世話になっております。

不安で仕方なかった北海道・東北ブロック保育研究大会への選考発表会、北海道・東北ブロック保育研究大会を無事に終えた現在、安堵の思いでいます。会長の指揮のもと、実行委員会の皆さんの大きな力に感謝しております。本当にありがとうございました。

(研究大会部長 田口 志織)

運営研究部

【今年度計画】

- ・ 青年部と連携をして研修会の開催
- ・ 園長セミナーの開催
- ・ 研修時に求められる内容の調査や情報提供および研究結果の公表

【実施した部会】

- 第1回 日時：6月12日(水) 13:00～ WEB開催
内容：今年度の事業について
第72回北海道・東北ブロック保育研究大会について
- 第2回 日時：7月25日(木) 13:00～ WEB開催
内容：第72回北海道・東北ブロック保育研究大会反省について
今年度の事業について

【今後の部会予定】

- 第3回 日時：8月下旬
内容：園長セミナーについて

【部からのメッセージ】

日頃より運営研究部の活動にはご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。

今年度は7月10, 11日に開催された第72回北海道・東北ブロック保育研究大会の運営の為、運営研究部としての活動はできておりませんでした。今後は今年度の計画を進めて行きたいと思っております。

今後とも運営研究部の活動へのご理解ご協力をよろしくお願い致します。

(運営研究部長 吉川 誠治)



広報部

【今年度計画】

- ・ 広報誌『保育あきた』の発行
- ・ 年2回の『瓦版』の発行

【実施した部会】

- 第1回 日時：5月2日（木） 13：30～16：20
場所：保育協議会 会議室・WEB 併用
内容：『保育あきた』瓦版について
発行時期について
原稿執筆者の選考
今後の日程について
・ 北海道・東北ブロック保育研究大会
渉外部としての進捗状況（印刷業者さんとの打ち合わせ）
- 第2回 日時：6月27日（木） 13：30～15：00
場所：保育協議会 会議室・WEB 併用
内容：『保育あきた』瓦版について
内容の確認
依頼園への担当決め
・ 北海道・東北ブロック保育研究大会（前日、当日の役割確認・集合時間 等）

【今後の部会予定】

- 第3回 日時：8月上旬予定 13：00～
内容：広報誌『保育あきた』瓦版の校正作業
誤字脱字修正 等
・ 北海道・東北ブロック保育研究大会
渉外部としての感想と反省

【部からのメッセージ】

今年度1回目の『保育あきた』瓦版を発行致します。是非とも各園で印刷し、職員の皆様にもご覧になっていただければ幸いです。

今後も会員園の皆様にとって有意義な情報発信となるよう部員一同頑張っております。

広報部の活動へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

（広報部長 川嶋 博英）

青年部

【今年度計画】

- ① 青年部研修会の企画および運営
- ② 他部との連携の推進
- ③ 青年部および県組織の魅力および情報の発信
- ④ 人材発掘および部員確保のための継続的な取り組み
- ⑤ 全国組織（全保協、日保協、全私保連）の活動への参加

【実施した部会】※ブロック研究大会「渉外部」の部会として

第1回 日時：4月16日（火）13：00～17：00

場所：保育協議会会議室・WEB

内容：協賛申込の受付状況について 等

第2回 日時：5月27日（月）13：30～17：00

場所：保育協議会会議室・WEB

内容：協賛申込事業所の状況確認について 等

第3回 日時：7月9日（火）13：30～17：00

場所：保育協議会会議室

内容：資料等袋詰め作業、当日の役割分担確認 等

【今後の部会予定】

第1回 日時：8月8日（木）9：30～11：00

場所：WEB

内容：研究大会の反省、今後の事業について等

【部からのメッセージ】

7月までは第72回北海道・東北ブロック保育研究大会の渉外部として、主として協賛（出展・広告）に関する事業を担当しました。各部員が主体的に・積極的に考え、行動してくれたことで、事前・当日共に臨機応変に対応できたと思っています。

今年度は「他部との連携」を形にするべく、運営研究部との合同開催で研修会を実施する予定をしています。会員の皆さまにとって実りある研修会になるよう、今後協議を進めてまいります。

（青年部長 伊藤 昌人）

災害互助制度お知らせ

新しい組織になってからより申請件数も増えていることから、災害互助制度の浸透喜ばしく思います。

さて、今回は長期になる場合の申請方法等についてのお知らせです。

基本給付対象期間は「会計年度4月1日から翌年3月31日までとなっております。お怪我の状況により年度を超えてしまう等ありましたら、以下のようにお願いします。

- ・基本的には、治療期間が年度をまたいだ場合は治療終了時の年度の扱いになります。
- ・治療終了日が年度末に近い場合も、治療終了日から1ヶ月以内に申請しましょう。
- ・治療が3ヶ月以上になりそうな場合は、医療等の状況の様式3号に治療継続中とありますので、医療機関で記載してもらいましょう。

園内外の保育活動中はもちろんのこと、園児の登降園中や職員の通勤途中の事故に対し、被災者にお見舞金を給付する制度です。保険制度ではありませんのでご承知おきください。これからも皆さまにとって活用しやすい制度を目指してまいりますので、お気づきの点がありまたら事務局までお寄せください。

地域交流助成事業について

会員施設の2か所以上が合同で行う地域活動事業を対象とする。この他、近隣に交流する会員施設がない場合であって、会員施設が単独で地域との交流を図るための事業を実施する際にも対象とする。

- ・提出期限は、当該事業実施1ヶ月前までです。
- ・事業計画申請に基づき、常任委員会において審査し決定します。ただし、期限を過ぎた申請については、正・副会長により審議したのち、常任委員会にて審査し決定します。
- ・事業報告は、事業終了後2ヶ月以内、または毎年度3月31日までに会長あてに報告してください。

こちらも皆さまへの周知・浸透を図っています。

行っている事業がありましたら、対象となるか確認してみてください。

8/1 現在の申請状況 申請件数 8件
5万円（7件） 2万円（1件）
審議中（1件）

様式第3号

医療等の状況

氏名		男・女	年	月	日生
傷害名					
診察開始日	年	月	日	診療実日数	日
治療継続中 (左記欄にチェックを入れてください)					
治療終了月日	年	月	日	入院日数	日

編集後記

色とりどりの七夕飾り。皆さんならどんな願い事を書きますか。

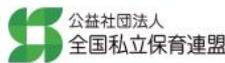
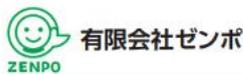
園児が短冊を家に持ち帰り、家族で願い事を書けてきます。「お金持ちになりたい」「ディズニーランドに行きたい」等々願いは様々ですが、「家族みんな元気でありますように」が多いです。まだまだ暑い日が続きます。よく食べよく寝て、そしてよく笑って“元気”に頑張りましょう！

今回は5月の研究大会選考発表会に参加した方の報告をいただきました。

発行にあたり、お忙しい中寄稿いただきました皆様には本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(Y.N)

[全私保連推奨] 各種団体保険制度



ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間（中途加入可能）

Web
加入
可能

「園賠償責任保険」「園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険）」
「職員団体傷害保険（総合生活保険）」など、保育施設における最大
リスクを補償する1番の主力保険制度です。

やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間（中途加入可能）

Web
加入
可能

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費
用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人
への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

Web
加入
可能

「園内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一
の場合の育児費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品
と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

しょうがくせいのほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

Web
加入
可能

24時間のおケガ等からお守りに加え、学校からの貸出タブレットを
含め個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的
な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

取扱
代理店
有限会社ゼンポ
TEL : 03-3865-3881
FAX : 03-3865-2806



引受
保険会社
東京海上日動火災保険株式会社
担当課支社：公務二部 文教公務室 TEL : 03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険（レピュテーション費用特約条項付 費用・利益保険）・雇用関連賠償責任保険の概要・団体総合生活保険（傷害保険）の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。

連絡先



公益社団法人全国私立保育連盟指定 / 東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ TEL **03-3865-3881**
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館4階

無制限の動画や写真を通して、園と保護者の絆を深める連絡アプリ

全国私立保育連盟推奨（総代理店）



「きっずノート」は長く使い続けていただけるよう

初期費用0円・追加料金一切なし

すべての機能使い放題 /
月額 **5,500**円(税込)のみ

無料体験実施中! → お申し込みは
コチラ



ご相談・ご質問はお気軽に

きっずノートサポートセンター

TEL **03-3865-3886**